



目次

■ 下諏訪町グランドデザイン

- 1. 背景・目的 ----- p. 1
- 2. 策定のプロセス ----- p. 2
- 3. 実現に向けて ----- p. 3

■ 下ノ諏訪宿地区

- I. 基本理念 ----- p. 4
- II. 俯瞰図 ----- p. 5
- III. 要所図 ----- p. 7

背景・目的

● 背景

下諏訪町は、古くから諏訪大社の門前町として、江戸時代においては中山道と甲州道中の交わる温泉宿場町として栄え、近代においては製糸業や精密機械工業により発展してきました。

しかしながら近年、特に地方都市で急速に進む人口減少や高齢化により、地域の経済や社会に及ぼす影響への懸念が強まっています。そのため、地域経済の活性化や、地域社会に暮らす人々が誇りと満足感を抱ける持続可能なまちづくりの推進が喫緊の課題で、当町においてもこの課題解決に向けたまちづくりを図る取組が必須となっています。

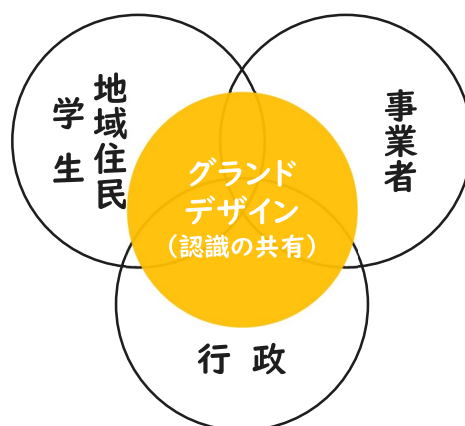
また併せて最近では、移住者による出店、赤砂崎公園・諏訪湖周のサイクリングロードの整備、国道20号バイパス事業等が進められており、当町におけるまちづくりに新たな風が吹いてきています。

こうしたさまざまな動きがある中で、地域住民・事業者・学生等、ここに暮らすすべての「ヒト」と行政がまちづくりに対する認識を共有してまちづくりを進めていく必要があります。

● 目的

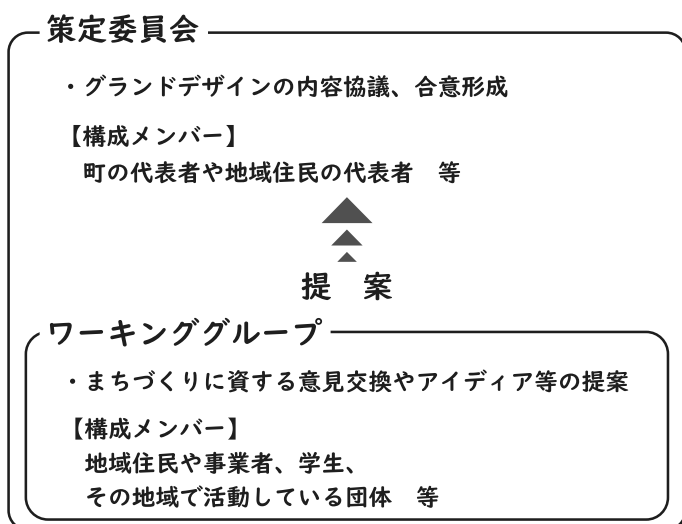
「下諏訪町グランドデザイン」は、みんなが誇りと満足感を抱ける「住みたいまち、元気な声がひびくまち」の実現に向けて、10年、20年後の将来像を共有するために、地域住民・事業者・学生等幅広い立場の方からの意見を集約し、策定するものです。

策定後は、地域住民・事業者・学生等ここに暮らすヒトと行政が一体となって、将来像の実現に向けたまちづくりを進めていくことを目的としています。



2 策定のプロセス

● 策定体制



事務局：建設水道課都市整備係

◀◀ 支援

- ・まちづくりアドバイス
- ・運営
- ・基礎調査 等

UDC信州

長野大学

● 策定の流れ

● 基本理念の策定

● 俯瞰図の策定

- ・基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像

● 要所図の策定

- ・基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針

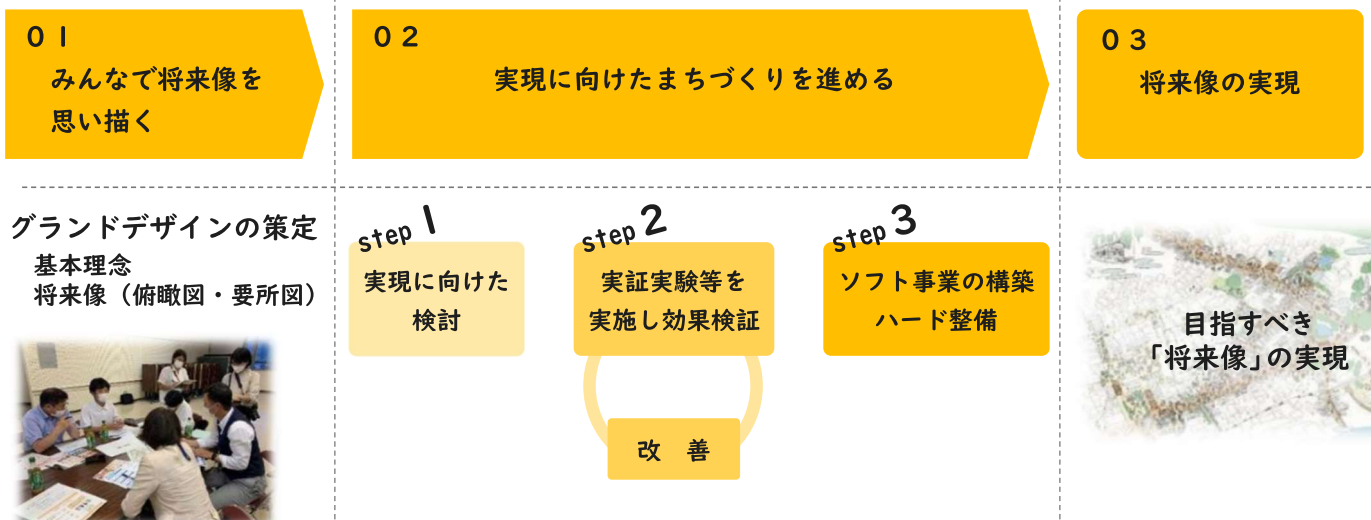
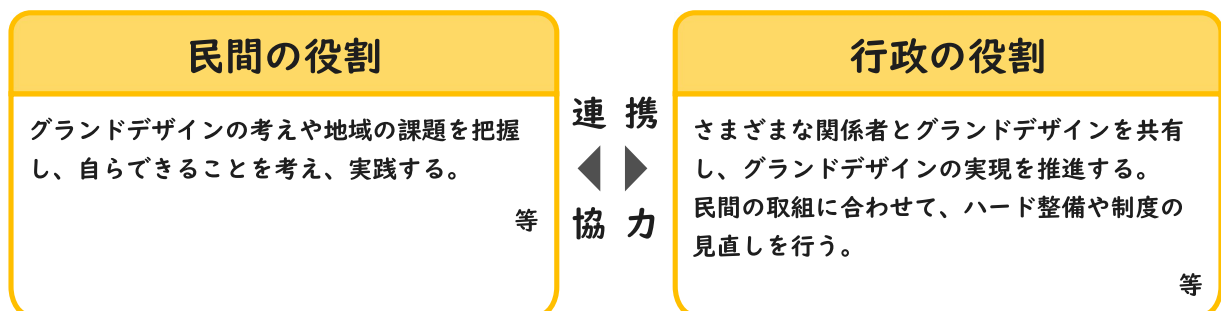
● 地区グランドデザインの策定

● 策定地区



3 実現に向けて

● 実現に向けた体制



基本理念

● 対象エリア



● 基本理念

下ノ諏訪宿地区は、大社といで湯の宿場まちとして賑わった下ノ諏訪宿周辺において面影を活かし「稼ぐ観光」と「住みたいまち・元気な声がひびくまち」の実現に向け、「宿場町」、「温泉」、「まちあるき」、「ヒトのつながり」による活気ある街の創出を目指します。

● まちづくりに向けたテーマ

宿場町

観光客が宿場町を感じる街



温泉

温泉に触れ楽しめる街



まちあるき

歩きやすく、まちあるきして
楽しめる街



ヒトのつながり

地域住民、事業者と
つながれる街



俯瞰図

基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像です。

【5～6ページ参照】

要所図

基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針を示すものです。

【7～9ページ参照】



※基本理念のもとイメージしたものであり、家屋等の位置、形等は正確ではありません。





※基本理念のもとイメージしたものであり、家屋等の位置、形等は正確ではありません。

基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針を示すものです。

湯田坂(中山道)

～歴史的な街並みを感じ、まちあるきや温泉を楽しむ人が交流する要所～

<特徴>

古い建物を生かした観光施設や灯籠、石畳等により歴史を感じられ、観光客が来訪する春宮と秋宮の動線上に位置している。

また、共同浴場付近には飲食店もあり、地域の憩える通りとなっている。

<課題>

- ・歴史を感じられ地域と触れ合える要所であるが、観光客の移動手段が限られていることからまちあるきにつながっていない。
- ・空き家が増えてきており、賑わいが少なくなっている。



<現況>

《将来像》



《取組方針》

歴史的な街並みを保存、整備、利活用しながら、地域住民が憩える居場所を維持し、観光客も訪れやすい整備を進めます。

- 官で取り組めること
 - ・歴史を感じられる建造物の維持・整備
 - ・活用できる空き家の情報収集・情報提供
- 民で取り組めること
 - ・空き家や公共空間を活用して、地域住民や観光客が休み、交流できる場の創出

大社通り

～歩道と道路空間を活用した、快適で賑わいある歩きたくなる要所～

<特徴>

諏訪大社下社秋宮へ続く坂道である。

また、歩きやすい道路や公園、観光施設等が整備され、無電柱化が進められている。

<課題>

- ・歩道が整備され歩きやすいが、道路空間が広くかつ坂道のため、観光客の行動範囲が限定的となり、地区全体で「稼ぐ観光」につながない。



<現況>

《将来像》



《取組方針》

道路空間や周辺の公園等を活用した賑わいを創出し、歩きたくなる空間を演出します。

- 官で取り組めること
 - ・ストリートファニチャーの設置や植栽等の整備
 - ・公共空間や道路空間の利活用の整備
- 民で取り組めること
 - ・公共空間を活用したイベントの実施
 - ・広い歩道を活用し店舗ごとの魅力発信や情報発信

国道142号及び周辺の共同浴場

～歴史的な街並みと温泉を通じて人が集う空間と安全で歩きやすい要所～

<特徴>

建物や屋号等で良好な街並みが形成され、歴史を感じる通りとなっている。

また、共同浴場が存在し、地域住民と観光客が触れ合える場となっている。

<課題>

- ・歴史を感じ地域と触れ合える場であるが、車両と歩行者が混在し、安全面で歩きやすい通りとなっていない。



<現況>

<<将来像>>



<<取組方針>>

歴史的な街並みを保存しつつ、安全な道路空間の整備を進め、歩きたくなる歩行者空間を演出します。

- 官で取り組めること
 - ・歩きたくなる道路空間の整備
 - ・民間と連携した街並みの形成
- 民で取り組めること
 - ・温泉を楽しめるサービスの充実や地域交流ができる空間創出

綿の湯跡地及び本陣周辺

～歴史と温泉に触れるまちあるきの要所～

<特徴>

綿の湯跡地や下諏訪宿本陣、中山道と甲州道中の合流地点などかつての面影を感じられる場になっている。

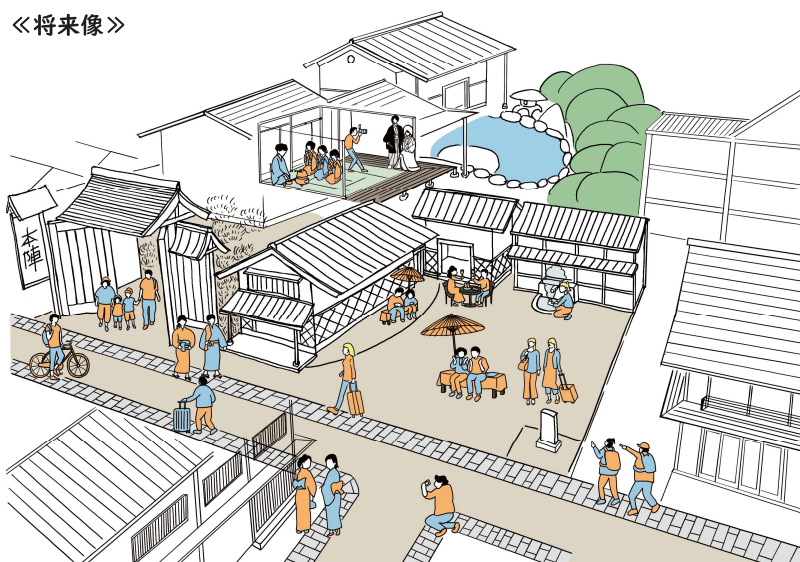
<課題>

- ・歴史的資源がいくつも残る要所であるものの、その潜在的な魅力に更なる活用の余地がある。



<現況>

<<将来像>>



<<取組方針>>

歴史的資源を保存、利活用しつつ、その魅力を活かして地域住民が憩い、観光客が訪れやすい環境整備を進めます。

- 官で取り組めること
 - ・地域活動の場の整備
 - ・民間と連携した一体的な空間整備
- 民で取り組めること
 - ・歴史的な名所を活用した魅力発信や情報発信

御田町商店街及び四ツ角駐車場周辺

～地域住民と観光客がつながる賑わいの要所～

<特徴>

地域と密着した商店街であり、昔ながらの店舗や新しい店舗が存在し、地域住民と移住者のコミュニティが形成されている。

また、四ツ角駐車場ではバスの駐車が可能である。

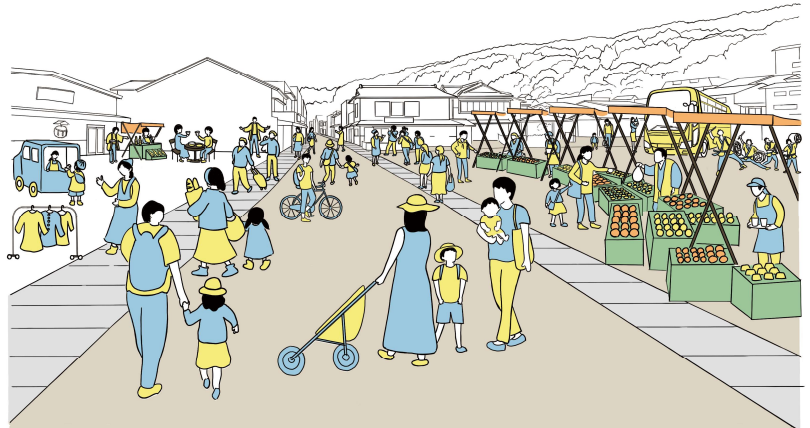
<課題>

- ・地域住民と移住者の交流が活発であり、コミュニティが形成されているが、歩きたくする要素が少ないため、まちあるきにつながっていない。
- ・比較的広い駐車場がありながら、その認知が低く、回遊の起終点になっていない。



<現況>

<<将来像>>



<<取組方針>>

商店街としての良好なコミュニティを維持しつつ、観光客と地域住民が集い触れ合える空間を創出します。

○官で取り組めること

- ・駐車場や公園等の公共空間の利用を促進するための情報発信と民間のニーズに合わせた利用しやすい仕組みづくり

○民で取り組めること

- ・観光客や地域住民も魅力的に思えるイベントやマルシェ等の実施

立町通り

～歴史文化を感じ風情を楽しむ要所～

<特徴>

歴史ある宿や統一された修景等により風情ある街並みが形成されている。

また、車両も少なく歩きやすい通りとなっている。

<課題>

- ・歴史的な雰囲気が感じられ、歩きやすい要所でありながら、観光客の認知が低く、歩く人が少ない。



<現況>

<<将来像>>



<<取組方針>>

歴史的な街並みを保存しつつ、その魅力を活かし、観光客が訪れたいくなる環境の整備やしかけ・仕組みづくりを進めます。

○官で取り組めること

- ・歴史を感じられる建造物の維持・整備
- ・既存の観光施設を活用した魅力発信

○民で取り組めること

- ・宿場町の面影を活かした魅力発信
- ・通りの風情を楽しむイベントの実施

地区全体

<課題>

- ・坂が多く移動手段も限られているため、まちあるきにつながっていない。
- ・地区内の魅力的な要素の認知が低く回遊につながっていない。
- ・駐車場や交通結節点などまちあるきの起終点からの動線が分かりにくく、面的な回遊の広がりにつながっていない。

<取組方針>

効果的な情報発信やサインの再整理、移動手段の導入等により、観光客が訪れやすく、歩きやすいまちづくりを進めます。

○官で取り組めること

- ・初めて訪れる方や海外から訪れる方等、誰もが魅力的な要素を認識して、回遊につながる誘導（サインの再整理）
- ・公共交通の手段や仕組みの見直し
- ・面影のある道路や修景の統一

○民で取り組めること

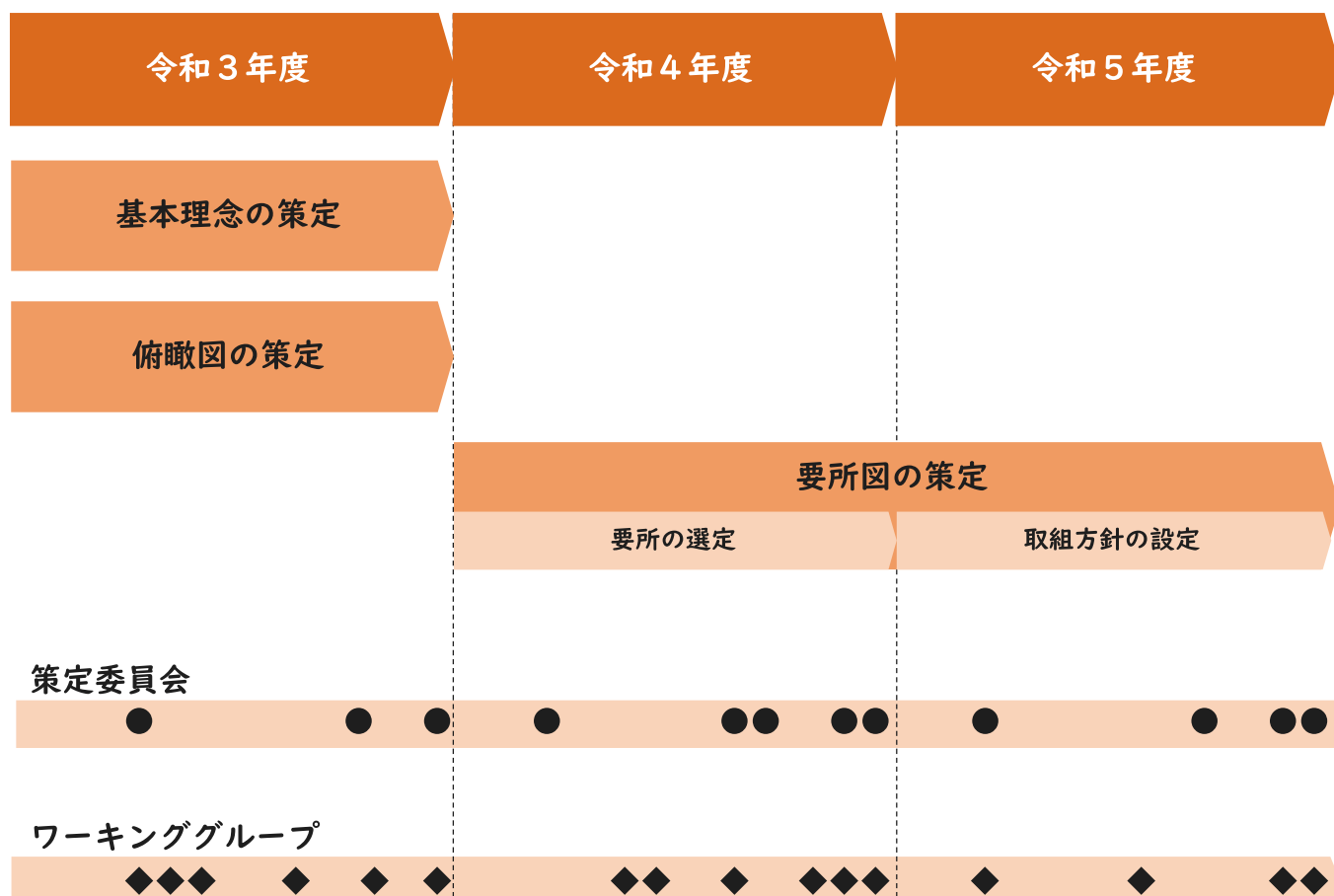
- ・観光情報の発信や観光客との交流
- ・観光客のニーズに合わせた快適で楽しいモビリティや移動サービスの提供



まちあるきの主な動線

まちあるきの主な起終点

策定の経過



「下諏訪町グランドデザイン 下ノ諏訪宿地区編」

発 行 令和6年3月
発行者 下 諏 訪 町

※ 本事業は「長野県地域発元気づくり支援金」を活用しています。